

「ふうせんバレー大会（ゲーム）」（団体のみ）

本大会は交流を目的としており、以下の特別ルールにより実施します。

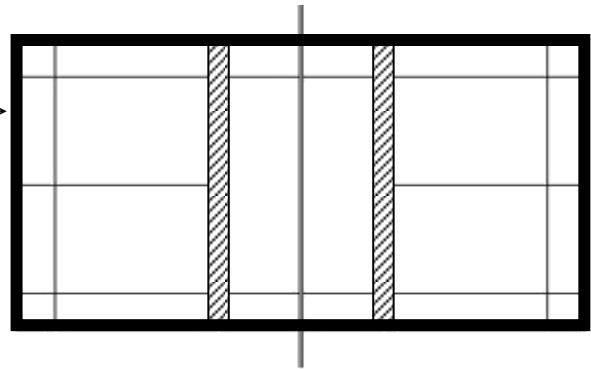
対象：ダウン症児・者およびその保護者

実施方法

- ・バドミントンダブルスのコート、ネットはバドミントンネットの高さで実施します。
- ・6人対6人で対戦します。

ダブルスコート→

サービスライン



中学生以上チーム…6人のうち保護者は1人まで入ることができます。

主に中学生以上のチームを対象とします。

小学生チーム…6人のうち保護者は2人まで入ることができます。

◆特別ルール◆

- ・組み合わせについては、当日発表します。
- ・8分で終了とします。（終了時に得点の多いチームの勝ち）
- ・ふうせんが自コートに入り、3打以上7打以内で相手コートに返すこととします。
- ・ふうせんは片手打ち、両手打ち、頭、身体などの部分を使っても良いこととします。（ただし、保護者の両手打ちは禁止です）
- ・保護者のアタック（床に打ち落とすような打ち方）および相手チームへの返球はできません。
- ・交代は、プレーが中断したときのみ可能とします。

サーブ

- ・得点が入るごとにサーブ権（サーブを打つチーム）は変わります。
- ・サーブは全選手が打てるようにチーム内で決めてください。
- ・サーブは1回のみで、セカンドサーブはありません。
- ・打ち方は自由です（保護者がトスをあげるのも可）ただし投げ入れは不可とします。
- ・サーブ後のアシストはサーブを打った人以外の1名が1打のみ可能です。（保護者は不可。但し小学生のサーブは保護者も可）
- ・サーブはサービスライン（バドミントンのサービスライン）から行います。

反則行為（以下の行為は、相手チームに1点加算されます）

- ・3打以上7打以内で返球できなかった場合。
- ・ふうせんを持ったり、運んだりする行為。
- ・明らかなタッチネット、相手コートに入ること。
- ・同選手が連続でふうせんに触れた場合。

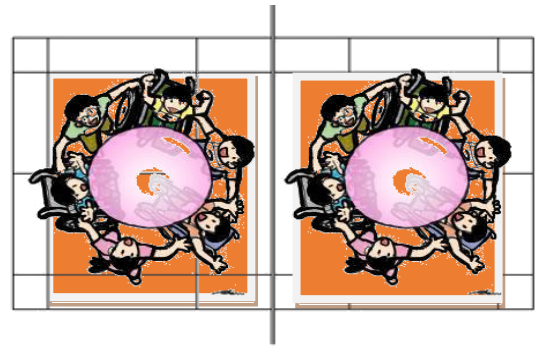
その他

- ・ふうせんが割れた場合、そのラリーはノーカウントとします。（時間も止めます）

「ふうせんバレー大会（ラリー）」

実施方法

6人が手をつなぎ広げた範囲がコートとなります。
（色で塗られた部分で、おおよそバドミントンコート半分程度となります）



↑バドミントンコート↑

◆特別ルール◆

- 3分間×2セットで実施し回数を競います。回数はセットごとでカウントします。
- 途中でふうせんが床に落ちた場合でも、時間内であれば再度行うことができます。ただし、回数はゼロからカウントします。
- 保護者は1人まで入ることができます。（小学生チームは、2人まで）
（個人参加の方はセンターでチームを組みます。）
- ふうせんは片手打ち、両手打ち、頭、身体などの部分を使っても良いこととします。
（全て1打として加算）ただし保護者は片手打ちのみとします。
- 同選手が連続してふうせんに触れた場合は再スタートとし、ゼロからカウントします。

○その他○

- ふうせんが割れた場合、すぐに新しいふうせんを入れ再開します。
（回数は継続し、カウントします）
- スタートは天井にむかって投げることで始まります。
- 交代は、プレーが止まった時またはセット間とします。
- 応援者は応援席から拍手等で応援してください。

その他

- スポーツレクリエーションブース（体育館）
ボーリング、フライングディスク、輪なげなどいつでも誰でも楽しめる種目を用意しています。
- ロビー
参加者の作品展示を予定しています。

